

ソニーを

間をさせて

ボクシングジムを開く元アマ日本王者

今岡賢覚さん(36)

広島・橋実高出身で、全日本アマチュアボクシング選手権を3度制した今岡賢覚さんが4月初め、広島市中区にジムを開く。ジム名は「IBA(今岡賢覚ボクシングオーソリティー)」で、広島県内7カ所目。1990年代の県アマチュアボクシング界を支えたかつての名選手に、指導者としての理念や選手育成のポイントなどを聞いた。

「なぜジムを開こうと思ったのですか。」

引退した時からの夢。感謝の気持ちと謙虚な心を受けたボクシングに携わっていた良かった。特に橋実高には部がなく、高校総体に出場するため、1年時に臨時の担任だった先生の尽力で県高体連に登録してもらった。本当にうれしかった。いろんな人への恩返し的气氛もある。

「開業を前に今の気持ち。」

どんな方針で臨みますか

興奮、恐怖、楽しみが入り交じり、リングで上がる前と同じ心境です。

(友岡真彦)

楽しさ幅広く伝える

「どんなジムにしたいですか。」

まずボクシングを知ってほしい。将来は全国大会にも選手を送りたいが、「ボクシングに出会えて良かった」と思ってもらえるよう、頑張りたい。子どもから大人まで



幅広く受け入れたいの。リードパンチをうまく使え、自分の距離をつくるのが理想です。

「どんなタイプの選手を育てたいですか。」

「打たれずに打つ」というよりも、「打つても打たれない」という攻め中心のスタイルを教えた。金メダルが弱かった。「金メ

「自身の豊富な経験を通じてどう伝えますか。」

「プロの道に進むよりも五輪出場という夢の方が大きかった。でも、気持ち弱かった。」

いまおか・よしあき 1972年5月16日、広島市南区生まれ。現役時は左ストレートが武器のサウスポー。高校3年の時、ウエルター級で全国高校総体、国体の2冠を達成した。法大を経て中国企業(広島市)に就職。96年の広島国体を制するなどアマチュアの日本タイトルを11度獲得した。92年バルセロナと96年アトランタの五輪代表候補だったが、ともにアジア一次予選で敗退。98年に引退した。通算成績は111戦101勝(60KO・RSC)10敗。